

# General Specifications

## PM4S7730 設備管理システム接続パッケージ



GS 30B05A20-01JA

[Release 4]

### ■ 概説

設備管理システム接続パッケージは、PRM と米国 IBM 社の Maximo® 設備管理システム (以降、設備管理システム) を接続するために使用するオプションパッケージです。このパッケージを使うことによって、設備管理システムは PRM からオンラインで情報を受け取ることができます。

### ■ 設備管理システムとの接続

設備管理システムは、定量的なデータを用いて、プラント内における各種システムの状態を評価しながら設備の管理を行うことで、プラントの保全作業の効率化、安全化を図ることを目的としています。

PRM と接続することで、設備管理システムは PRM からフィールド機器の情報をオンラインで取得でき、より効率の良い保全作業が実現できます。

### ● 機能仕様

設備管理システムと PRM の接続により、以下の機能が実現できます。

- ・ 機器台帳の同期 (オフライン)  
機器台帳の同期ツールにより、PRM の機器台帳の内容を設備管理システムの機器台帳へエクスポートします。
- ・ プラント階層/設備管理体系のマッピング (オフライン)  
設備管理システムの設備体系を、PRM のプラント階層との対応付けを行った上で PRM 側に取り込みます。
- ・ 作業依頼の送信 (オンライン)  
PRM 側で作業入力ダイアログを呼び出し、PRM 側から設備管理システムへ作業依頼を送信します。
- ・ 作業依頼状況の表示 (オンライン)  
設備管理システムへ送信した作業依頼の進捗状況を、メンテナンスマークと連携することにより表示できます。
- ・ 進捗表示の呼び出し (オンライン)  
PRM 側から、設備管理システムクライアントの進捗表示ウィンドウを呼び出します。

## ● 設備管理と PRM の役割分担

設備管理システムと PRM では、同じデータを扱うことがあります。設備管理システムと PRM を接続した場合に、どちらが主体的にそのデータを扱うか、それぞれの機能分担の概略を表に示します。詳しい仕様は、設備管理システム側の取扱説明書等を参照してください。

表 PRM と設備管理システムとの機能分担

| 機能               | PRM | 設備管理 | 説明   |
|------------------|-----|------|--|
| プラント階層／設備管理体系    | ○   | ◎    | 設備管理システムでの設備管理体系と PRM のプラント階層をマッピングします。                        |
| 機器台帳             | ◎   | ○    | 機器台帳の項目は、PRM がマスタとなります。したがって機器台帳項目は、PRM から設備管理システムへ転送します。      |
| パラメータ比較          | ○   | —    |  |
| ツール／DD メニュー      | ○   | —    |  |
| PRM アドバンスト診断     | ○   | —    |  |
| ツール／DeviceViewer | ○   | —    |  |
| プラグイン            | ○   | —    |  |
| 履歴メッセージ          | ◎   | —    |  |
| 関連ドキュメント表示       | ○   | ○    | PRM と設備管理システムそれぞれのユーザが必要なドキュメントをそれぞれの機能に関連付けて使うことを想定しています。     |
| セキュリティ           | ○   | ○    | PRM と設備管理システムでそれぞれ、ユーザを作成しセキュリティを設定することになります。                  |
| 印字               | ○   | ○    | PRM と設備管理システムのそれぞれで必要な情報を印字するようにします。                           |
| メモ               | △   | ○    | 設備管理システム側の機能を使います。システムの柔軟性と上位互換性を維持するため、PRM ではこれらの機能を無効にはしません。 |
| 作業依頼／工程表         | —   | ○    | 設備管理システム固有の機能です。   |
| 進捗表示             | —   | ○    |  |
| 人員管理             | —   | ○    |  |
| 購買業務／予算管理        | —   | ○    |  |

- ◎：機能が有効であり、データを転送できます。
- ：機能が有効であることを示します。
- △：機能はあるが、運用として使用しないことを示します。
- ：対応する機能がありません。

## ● 設備管理システムとの接続

設備管理システム側には Maximo Enterprise Adaptor (MEA) が必要です。

対応する Maximo のレビジョン：Ver. 7.5.0.4/7.6.0.0

設備管理システムサーバの動作環境は、設備管理システムの仕様書を参照してください。

PRM の各パッケージを設備管理サーバに同居させる場合は、PRM に必要な主記憶容量およびディスク容量を設備管理システムの動作環境に加算してください。

## ■ 動作環境

本パッケージは PRM サーバ機能 (PM4S7700) がインストールされたコンピュータ上で動作します。PRM サーバ機能の動作環境については、「統合機器管理」(GS 30B05A10-01JA) を参照してください。

## ■ 形名・仕様コード

### 設備管理システム接続パッケージ

|             |          | 記事                        |
|-------------|----------|---------------------------|
| 形名          | PM4S7730 | 設備管理システム接続パッケージ           |
| 基本仕様<br>コード | -V       | ソフトウェア使用権                 |
|             | 1        | 常に 1                      |
|             | 0        | 和文                        |
|             | 1        | 英文                        |
| 付加仕様<br>コード | /MAXIMO  | 接続管理システム：Maximo (*1) (*2) |

\*1：Maximo を接続する場合には、付加仕様コード (/MAXIMO) が必要になります。

\*2：Maximo と Maximo Enterprise Adaptor (MEA) は、別途購入してください。

## ■ ご注文時指定事項

ご注文の際は、形名と仕様コードを指定してください。

## ■ 商標

- PRM、CENTUM、ProSafe、STARDOM、Exaopc、FieldMate、Vnet/IP は、横河電機株式会社の登録商標です。
- Maximo は、米国 IBM 社の登録商標です。
- その他、本文中に使われている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。